

まちらぶ

調布北部地区 まちづくりかわら版 第1号 2021.09.01

調布市の北部地域(深大寺東町、深大寺南町(一部))は、緑が多く残っていて住む環境は良いのですが、駅から遠く市の中心部からは長い坂を上った高台にあり、私たちはその不便さを感じています。高齢者でも子育て中の若者にも、住みやすいまちにしたいと思って活動しております。

30年まえは。。

我が家は調布市深大寺に引っ越してきた。父は「緑が多くて、鳥の声も聞こえて朝起きると気持ちいいよ」と楽しんでいる感じだった。でも家の前は、砂利道、雨が降ると大変。駅に出るのにも、バスしかなくて、不便だなあと思っていた。そしてバスの本数も少ない。

一番大変だったのは母だ。近くにお店がなくて、いちいち駅まで行かなくてはならないし、大きな物の買い物は週末に父が手伝ったりしていた。薬局もなかったし、お医者さんも分からず、少しの間は以前の家の病院に行ったりしていた。家の周りの道も坂があるので、自転車を押していくのが嫌だったのを覚えている。今思えば、母の負担は大きかったと思う。



バス通りも狭く、バス停に立っているのが怖かった。道路も狭かったり、行き止まりも多かった。今の原山線のところには家があり、三鷹への道路と続いていなかった為、自宅の家の前を通過して迂回するので、自動車音がうるさかった。周りの人達は安全ではないし、騒音はうるさ

いし、市役所に苦情を言っていた。随分年数はかかったが、ある日道路を妨げていた家がなくなり、原山線が開通した。びっくりした。何か一つ大きな変化が起きたと思った。

人々が交通の便の悪さを訴え続けていたら、開通した原山線にバスが通り、つつじヶ丘の駅まで出て京王線で調布駅に行かなくても済むようになった。凄い進歩だ。生活が変わっていく。

しかし、日常生活のための食料品の買い物や風邪薬もすぐには買えない不便さは長い間変わらなかった。

変化が起きた！

思えばここ30年の間、有志が住民との交流会をし、現状についての意見をまとめ、市役所とも色々な形で訴えてきた。

そして住民の声は反映され、変化は起きたのです。

1994年(平成6年): トップスーパーオープン

2001年(平成13年): マツモトキヨシオープン

マツキヨの処方箋薬局の第一号店

2006年(平成18年): メディカルビルオープン

2009年(平成21年): コルモピアオープン

調布市北部地区まちづくり推進準備会

代表: 富澤 貴 (株式会社富沢造園)

事務局: 内野長治 (内野長治税理士事務所)

住所: 東京都調布市深大寺東町 3-16-2

T E L: 042-482-4014

M A I L: machizukuri2017@hb.tp1.jp

※公益財団法人東京都都市づくり公社より、まちづくり活動費の助成及び調布市都市整備部都市計画課より、調布市北部地区まちづくり推進準備会の認定を受けました

私たちのまちづくりの歩み

- 2008年 有志による「へそづくりの会」発足
- 2017年 会の名称を「調布市北部地区まちづくり推進協議会」に改称
- 2018年 工学院大学建築学部まちづくり学科星研究室のご指導によりプロジェクト開始
- 2020年 「調布市北部地区まちづくり推進準備会」に認定

※その間、住民との意見交流会やワークショップ、群馬県桐生市などへまちづくり見学会を実施